

ゆきさま、浅野泰世さま

レポートありがとうございました。

拝読いたしました。

先日の講義を聴いていただいた中に、たぶんご両親や

配偶者のことで、介護ということを考えたり、ケアマネジャーとかかわった方は

きっといるのだろうなあ、と思っていました。

ご両親のご様子をお書きいただいたこと、そこに浅野さんの勇気を感じております。

私たちもいつれ高齢になります。両親の姿は私たちの人生の延長線上にあるといっても言

い過ぎではないと感じます。身体的なことだけでなく、精神的な変化も理解する想像力を

持ちたいと私も常に思っております。

90歳の人には90歳の人にしかわからないだるさや、眠さや、感触があるかと思うのですが、
うれしいことや楽しいことは私たちと変わらないとも思います。

ともに生きるということはそういうことかな・・・とおもいました。

レポートありがとうございました。

小島操

★-----*★*-----*★*-----*★*-----*★*

小島操先生

メールをありがとうございました。

両親との向き合い方を考え直す機会を与えて下さった素晴らしい講義に加え、また、とても大切なことに気づかさせて頂きました。

衰えた心身に適応しながら二人の生活を続けるために、両親が多くのを切り捨てるのを見ていて、ただ寂しいと思ってきました。切り捨てているのが人生における楽しみの部分のように思えたからです。

でも、そのような見方をすることは傲慢であったと、メールを読ませていただき気付きました。

「90歳の人には90歳の人にしかわからないだるさや、眠さや、感触があるかと思うのですが、うれしいことや楽しいことは私たちと変わらないとも思います。ともに生きるということはそういうことかな・・・とおもいました。」

両親の今の暮らしの中に、彼らの「うれしいことや楽しいこと」を見出し、それを尊いと思うこと、それが、先の心配をするより、今私のなすべきことだと思えることが出来ました。そう思えたことをうれしく感じております。

温かいお心づかいをいただきましたこと、心より感謝申し上げます。